

岡山県立大学にて

透析・腎臓病食レシピ

クッキング&セミナー開催

日 時：平成30年2月18日（日）午前10時～13時

定員オーバーの盛況のなか、勉強をしながら多くの事を学び、

全員でおいしい食事をいただきました。



1. 杉本太郎先生（杉本クリニック院長）講演

CKD＝慢性腎臓病とは、長い年月をかけて、少しずつ腎臓の働き悪くなる状態のことです。

高リン血しょうによる血管石灰化などは、腎臓病患者に限らず、健康な人でもリンの過度な摂取は長生きできないなどの、食事上の大切な話しを具体的に説明していただきました。

食の大切さをしっかり学ぼう！！



2. 平松智子先生（岡山県立大学保健福祉学部栄養学科准教授）

透析食を別物と考えるほうが、作る側も食べる側もうれしいと思います。

塩分は控えめですが、たんぱく質もほとんど普通の食事と変わりません。

3. さあ調理をやってみよう！

平松先生と、同大学栄養学科の学生の皆様のご協力のもと、参加者全員で旬の地元食材を使用した、調理実習を行いました。



専門医による講義や、調理体験を通じて、栄養管理の重要性、調理の工夫について理解を深める。そして、より豊かな

食生活を送ることができることを私たちは願っています。

